

地熱発電の可能性と環境影響評価に関するシンポジウム ホワイエ会場展示

エネコム株式会社

○大分県「湯平温泉」の地域主導型再生可能エネルギーに関する取組について

再生可能エネルギー自給率&供給率が全国1位の大分県。地域のよさを活かす『環境配慮型地域構想』を地域主導で進めようと、体制作りから取り組んでいます。

- ①地域で想いを共有
- ②温泉資源の保護
- ③化石燃料使用経費の削減
- ④広報活動
- ⑤観光地としてレベルアップ など

【協力:株式会社 ジオテック技術士事務所】

○香川高等専門学校の地熱発電に関する取組について

香川高等専門学校 建設環境工学科 今岡研究室では、エネコム株式会社と共同研究にて、地熱発電所に関する立地環境評価や住民意識評価、景観評価を行っています。

＜展示したポスターのタイトル＞

- ・『住民アンケートによる地熱発電所の社会的価値の推定』
- ・『AHPを用いた地熱発電所立地に関するアンケート調査』
- ・『地熱発電所を対象とした印象評価に関する一考察』



地熱発電の可能性と環境影響評価に関するシンポジウム ホワイエ会場展示

一般社団法人小浜温泉エネルギー

○長崎県「小浜温泉」の地域主導型 再生可能エネルギーに関する取組について

100℃程度の高温熱水が1日1万5千トン湧出する小浜温泉において、産官学地域連携のもと、温泉発電の事業化へ取り組んでいます。

- ①小浜温泉の特徴
- ②協議会の設立、推進体制
- ③プロジェクトの構想
- ④ワークショップの実施
- ⑤温泉発電実証試験

○地熱資源を活用したまちづくり 「北刈水エコヴィレッジ構想ワークショップ」

小浜温泉の温泉街からほど近い過疎地域を対象に、地熱をはじめ、空き家や湧水、景観等の資源をもとに地域再生を図る「北刈水エコヴィレッジ構想ワークショップ」を開催しました。

【協力：北刈水エコヴィレッジ構想委員会】




Obama Onsen Energy

小浜温泉エネルギー活用推進プロジェクト
地熱資源を活用した低炭素まちづくりと地域再生
Low-carbon city planning and area revitalization by making the most of geothermal resources.

小浜温泉の特徴

小浜温泉の位置



市町村	世帯数	人口
雲仙市	15,892	46,168
島原市	17,245	46,790
南島原市	17,357	49,143

(H24.5.1推計値)

小浜温泉は、雲仙普賢岳のある島原半島の西海岸に位置しています。

- ・ 湯温は 105℃の高温水
- ・ 約 30の泉源がある
- ・ 1日に約 15,000トンの湧出量
- ・ 活用しきれないため廃棄（約 100℃）から心労費を発生させている
- ・ 約 95%の温湯が、浴用などに使われず 途端に排出されている
- ・ 未利用温湯を蓄めると約 70%が未利用

未利用温湯熱により
1,500~1,900kW規模での発電が可能
豊富な未利用温泉エネルギーを活用した、
温泉発電の導入を検討



小浜温泉の湯棚

協議会の設立、推進体制

小浜温泉エネルギー活用推進協議会

産官学地域連携により事業を推進



H16年当時は小浜温泉においても地熱開発に対する反対運動があり、開発が中止に。

地域主導の温泉活用事業の実現のため、H22年度より地元関係者に対する説明会や研究会を開催し、H23年3月に協議会を設立。

「低炭素まちづくりと地域活性化の実現へ」

